

実効線量

実効線量 じっこうせんりょう

E f f e c t i v e d o s e。I C R P-1 9 9 0年勧告での用語であり、1 9 7 7年勧告での実効線量当量に相当する。身体の放射線被曝が均一又は不均一に生じたときに、被曝した臓器・組織で吸収された等価線量を相対的な放射線感受性の相対値（組織荷重係数）で加重してすべてを加算したものである。単位はシーベルト（S v）で表される。例えば、I C R P-1 9 9 0年勧告における線量限度は放射線作業従事者に対して連続した5年間につき年当たり2 0 m S v、一般公衆に対して年当たり1 m S vとしている。

<登録年月>

1998年01月
